

AMAMO
SUMMIT
JAPAN
2019 IN
MIYAGI

開催報告書

全国アマモ
サミット
2019
みやぎ

-豊かな松島湾を
次代へつなぐ-

海辺の自然再生を考える 高校生サミット



2019.11/9 sat 11:00~17:00
11/10 sun 9:30~13:00

会場/ 塩竈市魚市場中央棟 (塩竈市新浜町1丁目13-1)



11月10日（日）

■朝の市場メシつあー（希望者のみ）

17 ■海辺の自然再生・高校生サミット

18 ■開会式

- 一般社団法人セブンイレブン記念財団
- マルハニチロ株式会社

19 ■高校生発表

- 北海道函館水産高等学校
- 山形県立加茂水産高等学校
- 宮城県水産高等学校
- 福井県立若狭高等学校
- 神奈川県立海洋科学高等学校
- 三重高等学校
- 関西大学北島高等学校
- 京都府立海岸高等学校
- 兵庫県立西宮今津高等学校
- 岡山市芸能高等学校
- 福岡工業大学附属城東高等学校
- 福岡県立伝習館高等学校
- 熊本県立芦北高等学校

23 ■高校生サミット閉会（集合写真）

24 ■大会宣言発表＆やるっっちゃコール

■大会閉会式

次期開催地（福岡市）引き継ぎ式

全国アマモサミット2020 in FUKUOKA 副実行委員長
伊藤潤宏樹さん・大神弘太朗さん

■閉会宣言



日本を代表する多島海域「松島湾」は、安定した地形と浅い海を持ち、縄文時代から貝塚の形成を受けて発展してきました。

2011年の東日本大震災は、こうした松島湾の環境を激変させ、地域の人々に海の怖さを刻みました。

2013年には「とりもどせ、みやぎのうみ」をテーマに開催された「全国アマモサミット2013」。全国のアマモに携わる人々との交流の中から、松島湾の生物多様性を取り戻し、地域の人々が再戻す試みがスタートしました。

東日本大震災から8年が経過した今、全国から多くの支援を受け、被災地の海洋産業が復興する営みを取り戻し、地球温暖化を緩和するブルーカーボンなどの取り組みも進められ、その中で私たちも貢献できました。

ここに、多島海・浅海域を代表する松島湾の経験を活かし、豊かな日本の海の環境を次世代へ継承する「全国アマモサミット2019みやぎ」を開催し、最新の情報や様々な活動の現状を共有するとともに、アマモの大切さを伝え、その森を守りぬき未来へ繋げていきます。

SUMMIT 宣言

私たちは、海の恵みを持続可能な形で受け続けるために、日常生活や社会活動で、
豊かな海を守り未来へ繋げていきます。

【今、私たちが出来ることは】

アマモの大切さを伝え、その森を守りぬき未来へ繋げること。

【そのために】

- 子どもたちが元気で楽しく海と触れ合い、海への好奇心を持って、積極的な会と場を提供し、見守り続けていきます。
- これから海を担う若者たちは、海について深く学び、様々な海洋問題の解決に取り組んでいきます。
- 生き物や環境などによって構成されている生態系（そこに住み、訪れる人々）が取れた良好な海辺づくりを実現します。
- 私たちは東日本大震災により、海との距離が遠のいてしまった方々に、新規事業や楽しさを身近に感じられる機会を提供し続けます。

島湾を次代へつなぐ」を大会テーマとして、令和元年11月9・10日の二日間、「全
ミット2019inみやぎ」を開催いたしました。

三、高校生をはじめアマモを象徴として全国各地でそれぞれ地元の海を愛するみなさ
0名の方々にご来場いただきました。

として我々が選んだ場所は塩竈市魚市場、メイン会場はその中の荷さばき場とさせて
いたが、勝手の違う会場の設えに戸惑った参加者、講師の方々もいらっしゃったかと

震災後に再建されたこの塩竈市魚市場は塩竈市の復興の象徴であると同時に、自然の
水産物が水揚げされ、商品という経済資源に変換される場所でもあります。このよう
な社会の境界たる場所で全国各地の海洋環境向上に取り組む皆様がつどい、発表や意
見交換を行われましたことはとても意義深いものととらえているところです。

大会報告として本書を作成し、たいへん多くの皆様からいただいたご尽力、ご高配に
申し上げるとともに、このサミットで得た知見を「宣言」のように行動に移してまい
ます。今後とも一層のご支援、ご協力をお願い申し上げる所存です。

令和元年12月吉日



全国アマモサミット2019inみやぎ実行委員会
実行委員長 桑原茂



全国アマモサミット大漁旗

アマモサミット開催地に引き継がれるこの大
漁旗は「全国アマモサミット2013 in みやぎ」
開催時に当時の実行委員会が製作しました。
昨年に「阪南の海」から「塩竈の海」に里帰りし、
「帰郷の海」としておもむろに生まれました。

2019 IN MIYAGI

全国アマモサミット2019みやぎ



2019年11月9日(土)・10日(日)

～ 豊かな松島湾を次代へつなぐ ～

開催日 2019年 11月9日(土)・10日(日)

会 場 塩竈市魚市場 中央棟1階荷さばき場・南棟展示室等
宮城県塩竈市新浜町1丁目13-1

海域「松島湾」は、特別景勝地「日本三景」です。松島湾は縄文時代から人々の養殖漁業が盛んとなるなど、豊富なみや文化が育まれてきました。

松島湾の環境を激変させると同時に持ちを海から遠ざきました。しかし、「アマモ」をテーマに「全国アマモサミット」と、アマモを海洋環境復興の象徴としての情報交換・交流の中から、津波の生物多様性を取り戻し、地域の人々試みが始まりました。

海辺の自然再生を考える 高校生サミット

高校生サミットは、それぞれの地域の海辺での研究や環境再生活動に取り組んでいる高校生が全国から集まり、テーマとする研究や活動の成果を発表し意見交換を行い、同じく海辺で活動する全国の同世代たちと地域を越えて交流する機会として開催されています。次代をになう高校生の視点から海辺の生態系や環境問題について、より良い海辺の未来を考えます。



2013の開催から6年。

AMAMO SUMMIT JAPAN 2019 IN MIYAGI

した今、全国から多くの支援を受けている状況、また人々と海が織りなす宮大國、また海洋国であるこの国がい興のよすがとなるもの信じていますと共有し、相互の発展を目的とし、Co2の吸収と貯留機能（ブルーカー）に注目が集まっていることから、を次代へつなぐことを目的として、全国アマモサミット 2019in みやぎ」



宮城県





来賓祝辞

- ・宮城県知事 代理
宮城県水産林業部長 小林 徳光 氏
- ・塩竈市市長 佐藤 光樹 氏



寺製マグロ漬け丼



■ セッショントーク

- 「東日本大震災における松島湾のアマモ再生」
株式会社森里川海生業研究所
松島湾アマモ場再生会議



－ 松島湾、アマモ場の価値について －

国土交通省国土技術政策総合研究所
沿岸海洋・防災研究部 海洋環境・危機管理研究室 室長
岡田 知也さん



大阪府阪南市事業部農林水産課
NPO 法人環境生態工学研究所



■ 一般講演

一般社団法人 SEVEN BEACH PROJECT 久保田靖朗さん
NPO 法人あおもりみなとクラブ 志田 崇さん



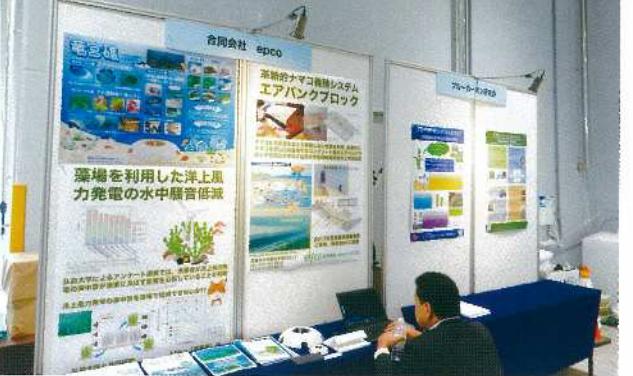


■ パネルディスカッション

「海の環境再生と市民活動」～豊かな海を未来へつなごう～
コーディネーター
古川恵太さん／NPO 法人海辺つくり研究会

パネリスト

木村尚さん／株式会社森里川海生業研究所
岡田知也さん／国土交通省 国土技術政策総合研究所
志田崇さん／あおもりみなとクラブ
岩井克己さん／株式会社 MACS
大沼剛宏／松島湾アマモ場再生会議



■ 会場展示パネル

2019 IN
MIYAGI

海辺の自然再生を考える
高校生サミット



参加校

13校





来賓挨拶

一般社団法人セブン-イレブン記念財団

理事 事務局長 星 効 氏

マルハニチロ株式会社

経営企画部 サステナビリティ推進グループ

副部長役 山口 俊彦 氏



■ 高校生発表

・北海道函館水産高等学校



■ 高校生発表

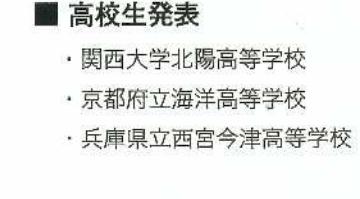
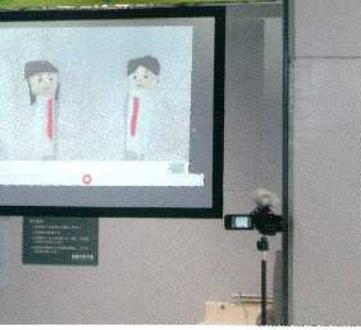
- ・山形県立加茂水産高等学校
- ・宮城県水産高等学校

■ 質疑応答・コメント



・神奈川県立海洋科学高等学校
・三重高等学校

■ 質疑応答・コメント



■ 高校生発表

- ・関西大学北陽高等学校
- ・京都府立海洋高等学校
- ・兵庫県立西宮今津高等学校



- ・福岡工業大学附属城東高等学校
- ・福岡県立伝習館高等学校
- ・熊本県立芦北高等学校

■ 質疑応答・コメント



■ 閉会・記念撮影





魅力あふれる福岡へようこそ！
～「博多湾 NEXT 会議」から発信する博多湾～
全国アマモサミット 2020 in FUKUOKA 副実行委員長
伊豫岡宏樹さん、大神弘太朗さん
博多湾 NEXT 会議のみなさん

■ 引き継ぎ式



やるっしゃ
アマモの森づくり
豊かな海を守るっしゃ

次回、
第13回
**全国アマモサミット 2020 の
開催地は 福岡県福岡市
です。**

き継ごと、「全国アマモサミット2019」が9日、宮城県塩釜市で開幕した。魚介類を育む海草アマモ場の再生を巡り、約10日まで。

国土技術政策総合研究所室長は、海草などが大気素「ブルーカーボン」を策として注目される海草大に向け「アマモ場の利用が増えれば好循環が生じる」と強調し

団体が活動を報告した。NPO法人環境生態工学研究所（仙台市）アマモ場213万平方メートルが東日本大震災でほぼ壊滅し、2017年まで回復した状況を説明。観光客の協力で海に砂団子などを投げる活動を紹介した。

鷹取部を調査する東北区水産研究所の研究員は「魚種ごとに産卵、群落の密度や形がある」と指摘。NPO法人あおもりみなどから「青森駅前人工干潟」でのアマモ場再生を紹介した。大会宣言案を練る、パネル討論もあった。

再生会議（塩釜市）や塩釜市などでつくる実行委員会で、塩釜開催10日は全国13校による高校生サミットがある。

アマモ再生へ環境改善議論 塩釜で全国サミット開幕 / 宮城

毎日新聞 2019年11月10日 地方版

宮城県 >



アマモについて調べたことや体験したことを発表する塩釜一小の4年生=宮城県塩釜市魚市場で

「海のゆりかご」とも呼ばれる海草のアマモの再生について話し合う第12回「全国アマモサミット」が9日、塩釜市で開幕した。10日までで、東日本大震災の被害を受けた松島湾の環境改善について議論が交わされる。

アマモは沿岸の浅瀬に自生する海草の一種。アマモなどの海草類が群生するアマモ場は魚介類の産卵や生育の場となるため、豊かな漁業を支える役割がある。

全国各地にあったアマモ場は高度経済成長期の開発で減少し、東北地方の太平洋沿岸では震災の津波で壊滅的な被害を受けた。松島湾では2007年に213ヘクタールの広さを占めたアマモ場が、震災直後の12年には2ヘクタールに激減。18年には72ヘクタールまで回復したが、まだ再生の途上にあるという。

会場の市魚市場では、アマモ場の再生に取り組む学生や団体によるパネルの展示

（松島湾アマモ場再生会議・塩釜市青年四団体連絡協議会・みやぎみなどまちづくり市民会議・つながる

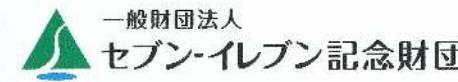
■ 後援

国土交通省東北地方整備局 国立研究開発法人水産研究・教育機構 東北区水産研究所 一般財団法人みやぎみどり基金 特定非営利活動法人海辺つくり研究会 宮城県 多賀城市 東松島市 松島町 七ヶ浜町 利府町 全国漁業協同組合連合会宮城県漁業協同組合 塩釜市観光物産協会 松島町観光協会 河北新報社 朝日新聞仙台総局 毎日新聞仙台支局 KHB東日本放送

■ 協力

NPO法人共存の森ネットワーク NPO法人アマモ種子バンク

■ 協賛



特定非営利活動法人
大阪湾沿岸域環境創造研究センター

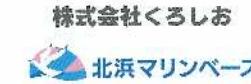


NPO法人
海辺つくり研究会



有限会社 アクト

鈴木工務店



一般社団法人
日本埋立浚渫協会



エフエムベイエリア株式会社

東北ドック鉄工株式会社

株式会社 白寿殿

(公財)
日本釣振興会宮城県支部

志波彦神社・鹽竈神社
氏子青年会

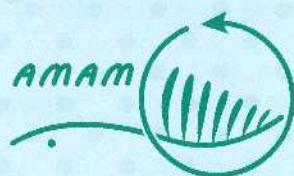
ホテルグランドパレス塩釜



震災で失われた海辺の生態系を取り戻すために、
海のゆりかご《アマモ場》の再生に取り組みます。



アマモン



発 行 全国アマモサミット 2019 in みやぎ実行委員会
住 所 〒985-0052 塩竈市本町 1-1 壱番館 2F
産業環境部商工港湾課 みなとまちづくり係
TEL : 022-364-1124
URL : <http://matsushima-amamo.main.jp/summit2019/>